



水素専用 乾式安全器

FLASHBACK ARRESTOR

LH-15型

新発売!

(社)産業安全技術協会の乾式安全器の安全性能認定審査基準に日本で初めて合格。

“国内第1号の水素専用・配管用乾式安全器 LH-15型”

水素ガスを使用する溶断加工業、ガラス・窯業、金属の還元・冶金、石油化学工業等の水素ガス供給設備にご使用いただける乾式安全器で、**新開発(PAT.P)の圧力感知式遮断機構に加え、熱感知式遮断機構**を組み込んだ**W安全機構**により、水素特有の微圧での逆火にも反応してガス供給を遮断し、逆火伝播を阻止します。



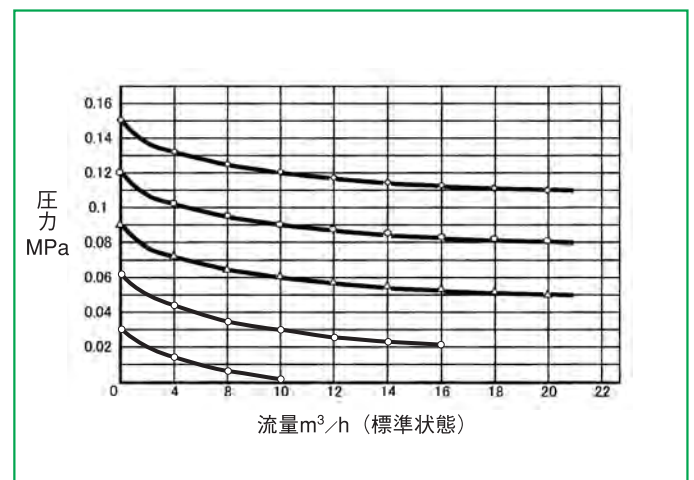
【特長】

- 材質 : 本体等の材質は真鍮製。
- 圧力感知式遮断機構 : 逆火が生じた時、ガス流路を遮断いたします。また、遮断を維持します。
- 熱感知式遮断機構 : 安全器の内部でガスが燃え続けたとき、熱感知遮断機構により、ガス供給を遮断いたします。
- 復元方法 : 圧力感知式=遮断器は、外部から復元ピンを1回転させると、復元します。熱感知式=弊社にて有償修理致します。

【仕様】

型式	LH-15型
適用ガス	水素ガス
常用圧力	0.15MPa
耐圧強度	6.0MPa
基準流量	15m ³ /h (標準状態)
最大流量	20m ³ /h (標準状態)
呼び径	15A
接続サイズ	Rc 1/2"
使用环境温度	+60℃以下
本体材質	C3771B
消炎素子材質	SUS316L
本体サイズ	W×D×H=151×60×72(mm)
質量	1.8kg

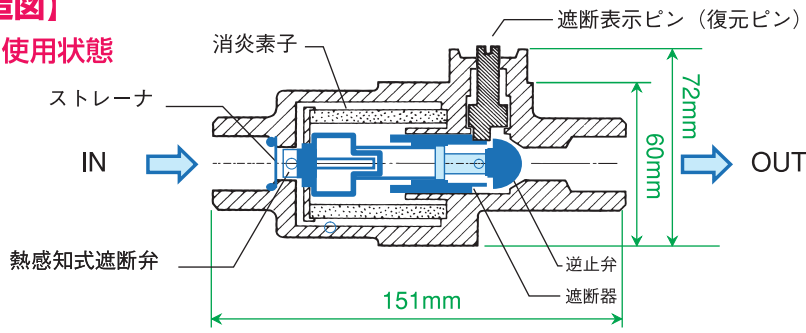
【流量表】



ガス作業の安全と設備の保全に…水素用・乾式安全器…LH-15型

【構造図】

●通常使用状態



主要部品	材質
本体・カバー	C3771B
消炎素子 (焼結金属)	SUS316L
遮断器	C3604B
逆止弁	C3604B
スプリング	SUS304WP
Oリング	FKM

* 出入口接続は、15A/20A-10Kフランジをオプションで御用意しております。

生産物賠償責任保険付

【安全器の作動】

1. 通常作動時、可燃性ガスはガス入口側から入り、消炎素子を通り、逆止弁を押し開いてガス出口に流れます。
2. ガスの逆流時は、逆止弁が働き、ガスの逆流を阻止します。
3. 逆火時、逆火の火炎が入口側への伝播するのを消炎素子で阻止し、逆火圧力によって遮断復元ピンを押し上げ、圧力感知式遮断機構が作動して逆止弁をロックし、ガスの供給を遮断します。
4. 供給圧力が異常上昇したとき、圧力感知式遮断機構が作動しガスの供給を遮断します。
5. 微圧や圧力を伴わない逆火が起きた場合は、内部のガス溜まりでガスが燃焼し続け、本体が高温になることがあります。この場合、熱感知式遮断機構が働き、供給遮断を行います。尚、熱感知式遮断機構が作動した場合は、逆火の原因を取り除いた後、新品のLH-15型にお取替えいただき、熱感知式遮断弁作動後のLH-15型は、弊社で修理(有償)いたします。

■逆火時の処置

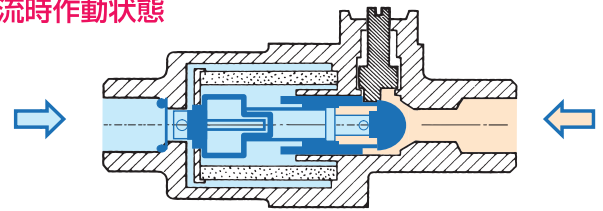
1. 逆火発生後即座に、吹管・バーナー、装置元弁、及び容器の各バルブを閉じて下さい。
2. 必ず逆火の原因を究明し、正常状態にして下さい。
3. 乾式安全器の外観検査、気密検査、逆流検査、遮断検査を実施して下さい。
4. 使用再開時に遮断器を復元(リセット)して下さい。
5. 遮断器を復元(リセット)すると、凸出た遮断表示ピン(復元ピン)が凹みます。

■遮断表示ピン(復元ピン)の状況

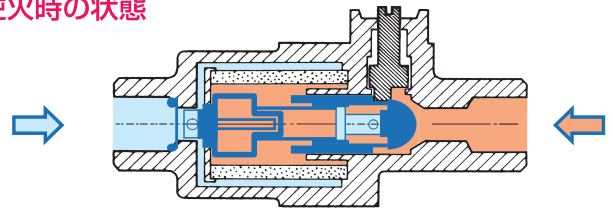
通常時(復元時)	逆火遮断作動時	復元出来ない時	復元方法
ピンの出が少ない。 (Oリングが見えない)	ピンが出ている。 (Oリングが見える)	ピンが高く出ている。 (Oリングが見える)	押しながら1回転させる。 (Oリングが見えない)

圧力感知式遮断機構・作動状態

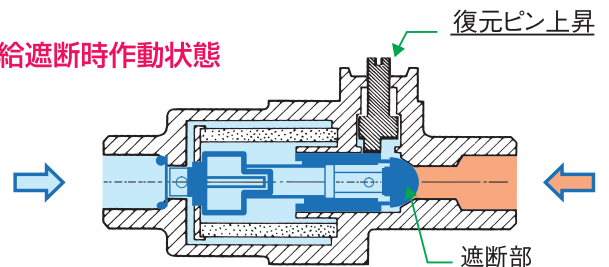
●逆流時作動状態



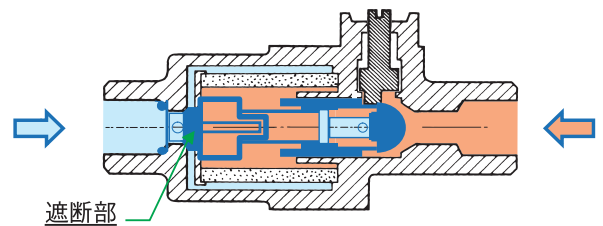
●逆火時の状態



●供給遮断時作動状態



熱感知式遮断機構・作動状態



ガスシステムの総合メーカー 国際品質規格 ISO9001取得(登録番号 00QR・285)

CH 株式会社 千代田精機

本社・工場 神戸市長田区東尻池町7丁目9番21号 〒653-0022
E-mail: info@chiyoda-seiki.co.jp
TEL (078) 681-8844 (代表) FAX (078) 681-8849
http://www.chiyoda-seiki.co.jp

支店・営業所

大阪/TEL.(06)6532-3941 FAX.(06)6532-3948
西神戸/TEL.(079)497-8188 FAX.(079)495-3371
神戸/TEL.(078)681-7808 FAX.(078)681-8849
広島/TEL.(082)232-8107 FAX.(082)292-1074
北九州/TEL.(093)561-7238 FAX.(093)561-7230
熊本/TEL.(096)331-0487 FAX.(096)331-0488
東京/TEL.(03)3561-6939 FAX.(03)3561-6933
北関東/TEL.(048)661-6981 FAX.(048)663-6951
横浜/TEL.(045)521-1741 FAX.(045)521-1740
名古屋/TEL.(052)682-1631 FAX.(052)671-5860
北陸/TEL.(076)437-4800 FAX.(076)437-4808

※改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

代理店